令和4年3月

令和3年度　施設関係者評価報告

認定こども園さめ保育園

【保護者アンケート結果】

今年度のアンケート回収率は９４％。
今年度もコロナ感染症拡大防止に努めながら、運動会や発表会では人数制限やクラス別に時間差を設けての開催だったが、「子どもの成長を見ることができてよかった」等、たくさんの感謝の声を頂いた。半面、入園時の懇談の時に保育園の理念や方針、アレルギー対応や苦情窓口の説明を行い、新年度には各家庭に書類を配布しお知らせしているが、十分に理解していただけてないことがわかった。
今後もっとわかりやすく伝えていくと共に、園への要望や不満も話せるような関係の構築に努めていけるよう職員一同努力していきたい。

【職員自己評価】

保育の計画性では園の教育理念や教育方針等の理解に努め指導計画を作成し評価と反省を行い次年度へつなげていけるように話し合う機会を持つようにした。「認定こども園」という地域で子育て支援を行う役割を理解し、教育・保育・子育て支援に努めた。職員は保育者としての専門性を高めるためにオンライン研修を通し、専門知識を学び、研修で学んだことを園内研修という形で他の職員も学ぶ事ができた。今年度もコロナ感染症を鑑み、行事の縮小、地域行事の中止、小学校や祖父母との交流が行えない状況の中、職員が意見を出し合い、園行事、園生活が楽しい場となるよう努めた。来年度も園児と保護者とのコミュニケーションを深め、心に寄り添う保育を心掛け地域の子育て支援にも積極的に取り組んでいきたい。

【施設関係者評価結果】

園の教育・保育目標が設定され、適切な園運営が行われていることやコロナウィルス感染症が流行する中でも適切な健康観察の取り組みや対応がおこなわれるとともに様々な情報提供が行われているととても良い評価を頂いた。3月まで「休園することなく過ごせているのは園と保護者が感染症対策を行っている成果であり、行事変更を余儀なくされる中、少しでも園児たちが楽しめるように企画運営している」等、感謝の気持ちも寄せられた。コロナ過で指導計画の立案と実施が不十分なところもあったため、園児一人一人の成長と発達を見通した全体的な目標に向かい柔軟な計画を立て、PDCA（計画・実行・評価・改善）を繰り返し、教育保育の質の向上を図っていきたい。今後もコロナウィルス感染症の終息を願い保育に精進してまいりたい。

【総　評】

新型コロナウィルス感染症感染対策のため、保育園の衛生管理と職員や園児の健康管理の徹底が継続された。二酸化炭素測定器も使い換気の徹底をし、寒い日の感染症対策も工夫し強化されたが、年度末に休園措置を取らなければならない状況となった。保護者の協力をいただき、一部休園したことで感染拡大することなく済み、安堵するとともに感謝でいっぱいだった。
２年間にわたるコロナウィルス感染症対策となり、皆疲弊しているが、「子供たちが毎日楽しくより豊かに生活しながら生きる力を育んでいけるように」「職員が健康で働き続けられるように」今後も感染症対策を講じながら、園児と保護者とのコミュニケーションを深め、心に寄り添う保育を心掛け地域の子育て支援にも積極的に取り組んでいきたい。
家族の高齢化に伴い、休む職員が増えたが、退職後の職員の補充ができない状態が続き、喫緊の課題となっている。
また園舎の老朽化に伴い、給食室をはじめとした修繕補修・備品の交換等が必要となっているので、計画的に行うようにしなければならない。